

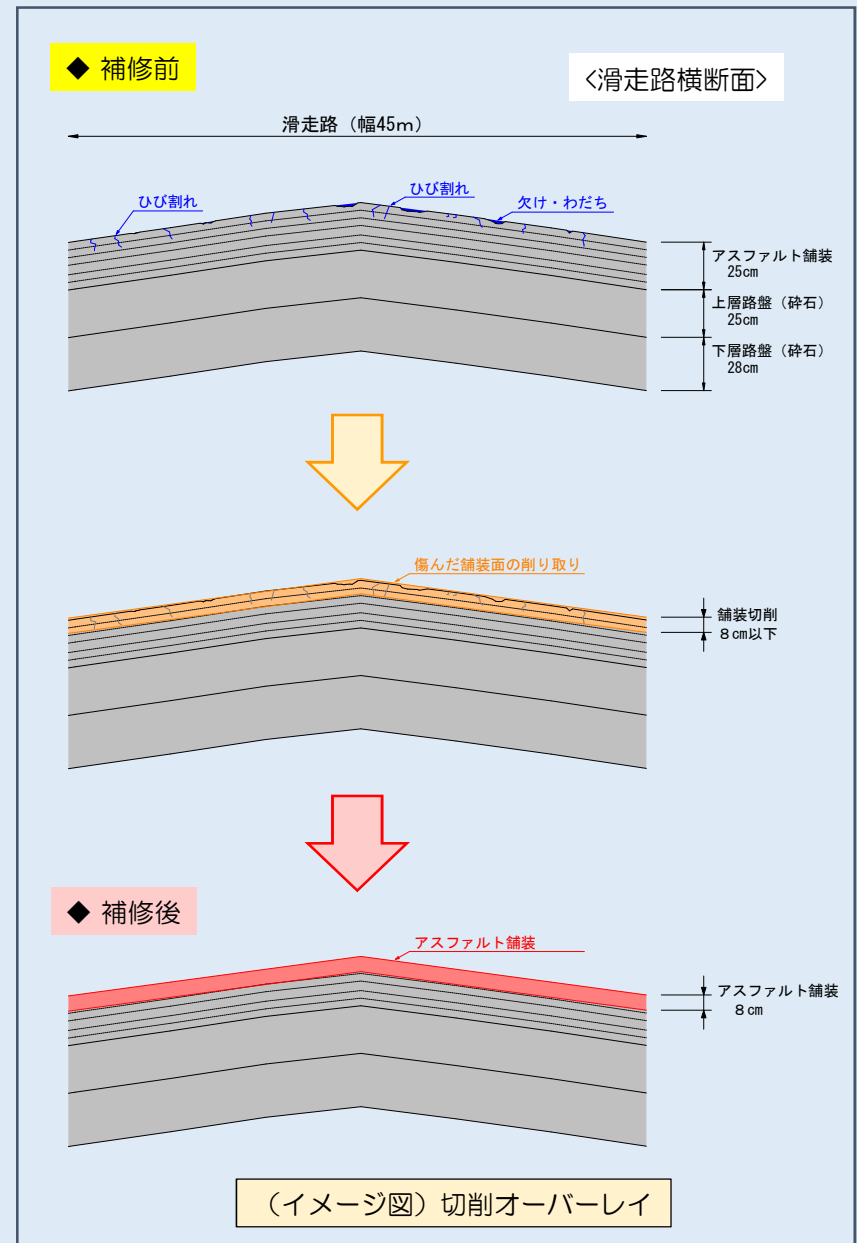
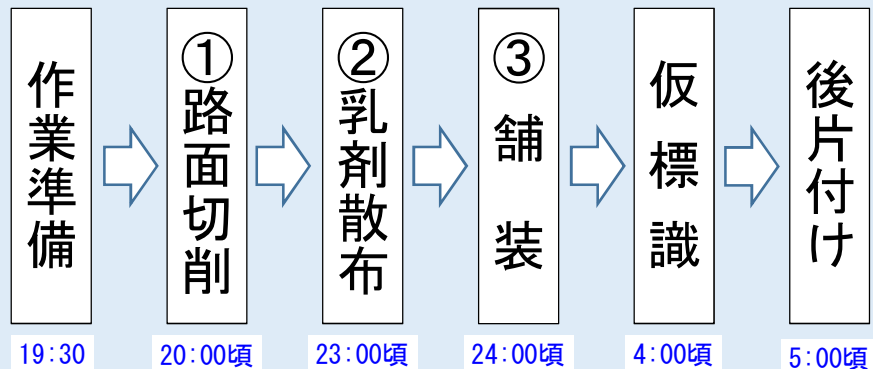
# 切削オーバーレイ工事について

経年劣化に伴う滑走路面のひび割れ等について、「ひび割れの除去」や「平坦性の回復（路面の凹凸を平らにする）」を目的として、一般道の舗装工事でも多く採用されている「切削オーバーレイ（路面を削って舗装を新設）」により舗装改良を実施しました。

1日あたりの施工面積は約1,800m<sup>2</sup>（幅45m×延長40m程度）、作業員約50名（車両機械も約50台）により、運用時間外（19時30分から翌8時）で作業を完了させました。

万が一、運用時間外で作業が完了しなかった場合には、翌日、航空機の離着陸ができなくなる可能性があることから、日々、緊張感を持って作業を行いました。

## ○1日の作業の流れ



# 切削オーバーレイ工事の施工状況（１）

## ① 路面切削



# 切削オーバーレイ工事の施工状況（2）

## ② 乳剤散布（既設舗装と新設舗装の接着の強化を目的として散布するものです）



※ 本工事では、施工の効率化（散布後の養生期間の短縮）等を目的として、NETIS（新技術情報提供システム）に登録された「分解型アスファルト乳剤」を採用しています。

## ③ 舗装(1)



# 切削オーバーレイ工事の施工状況（3）

## ③ 舗装(2)



## ○ 舗装後の状況

